

2002年度マテリアルフロー

生産活動における 環境負荷を 把握しています

2002年度の生産活動における環境負荷について、原材料、エネルギー、用水の投入をインプットとして、製品、産業廃棄物最終処分量、排水、CO₂大気排出量、有機溶剤大気排出量をアウトプットとしてマテリアルフローを図に示しました。

<INPUT>

原材料:生産活動に用いる原材料の総重量。
エネルギー:電力会社からの購入電力量、および燃料として使用した重油、灯油、天然ガス、LPG等の原油換算量。
用水:水道水、工業用水、地下水使用量。

<OUTPUT>

産業廃棄物最終処分量:再資源化ができなかった最終埋め立て産業廃棄物量。

排水:生活廃水および工場排水量。

CO₂大気排出量:電力、燃料使用に起因する排出量および脱臭炉、焼却炉からの排出量。

有機溶剤大気排出量:処理されずに大気に排出した溶剤量。

<その他の用語>

マテリアルリサイクル:廃棄物を原材料として再度利用すること。

サーマルリサイクル:廃棄物を燃料化し、その焼却熱を熱エネルギーとして回収すること。

RDF(Refuse Derived Fuel)ボイラー:

廃棄物を固形燃料として再利用するボイラー。
脱臭炉:有機溶剤を燃焼によって分解する装置。

廃熱回収ボイラー:脱臭炉での発生熱を再利用し蒸気を作る装置。

溶剤回収装置:有機溶剤を活性炭吸着により回収する装置。

2002年度マテリアルフロー

()は2001年度の数値です。 *産業廃棄物最終処分量については定義を見直して、2001年度の数値を変更しています。

